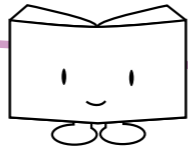


つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっちゃん」

まだ知らない世界へ



推薦者
安川 豊史さん
(二宮)

私が小学3年生の時、父が一冊の本を持って帰りました。その年、刊行が始まった『少年少女世界文学全集』です。私は、この本に夢中になり、全50冊の配本が終わったときには、中学2年生になっていました。そして、この全集の中にジュール・ベルヌ作の『十五少年漂流記』がありました。

ニュージーランドに住む15人の少年を乗せた大型ヨットが、ふとしたことから外洋に流され、無人島にたどり着きます。

少年たちはイギリス、フランス、アメリカという国籍を超えて協力し、いろいろと工夫

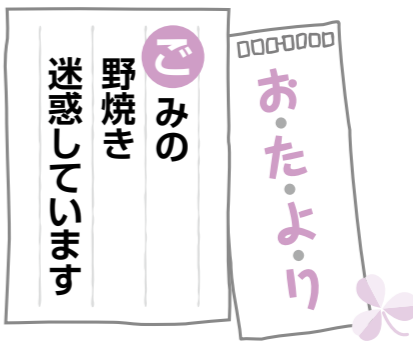
しながら生活を続けます。そして、2年後に救われるのですが、どの場面も面白く一気に読むことができます。

『漂流記』は、ロビンソン漂流記など、他にもいくつかありますが、それぞれ違った面白さがあり、いつもの生活とは違う、知らない自然や世界に憧れていた私は、漂流記の世界に引き込まれたのだと思います。

この本が、子どもたちの読書が広がるきっかけの一冊になればと思います。



「十五少年漂流記」
ジュール・ベルヌ作
瀬川昌男 訳
(集英社)



最近は少なくなりましたが、また家庭ごみなどの野焼きをしている人がいます。煙や臭いで洗濯物を外に干せない時があります。(匿名)

家庭ごみを野焼きすることは、法律で禁止されています。家庭ごみは決められた日に指定された場所に分別して出しましょう。

また、農業や林業などを営む人がやむを得ず野焼きなど



犬は、県条例で訓練する場合などを除き、綱や鎖でつなぐ、または柵やおりなどの囲いの中に収容して飼うことが義務付けられています。

また、犬に限らず飼い主は、ペットが他人に迷惑をかけるないように注意しましょう。

問い合わせ先 岡山県動物愛護センター 0867-249512

を行う場合であっても火事や人に迷惑をかけるような気を付けてください。

問い合わせ先 環境生活課 032-2055

くすのき賞

津山市文化連盟が地域の文化・芸術活動に活躍する個人や団体に贈る「くすのき賞」。5月2日、平成22年度の受賞者に贈呈されました。



後藤春彦さん(小原)

後藤さんは、小学3年生から始めた囲碁の魅力に引き付けられ、才能を発揮。平成21年(当時17歳)の時には、ワールドユース囲碁選手権大会に日本代表として出場するなど、活躍をしています。

「囲碁は、年齢も国籍(言葉)も関係なく、老若男女が対等に楽しむことができる、素晴らしいものです。この受賞を励みに、さらに日々精進していきます」と喜びを話す後藤さん。

郷土の明日を託すに足る若い人材を激励するとして今回の受賞となりました。

「いいなと思います。皆さんも会員になって体感しましょう。今後の目標は？」

もっと多くの出身者を応援して、津山で出身者が集うイベントがしたいですね。活動を続ける中で、出身者とファンクラブのつながりが生まれました。また、ファンクラブがきっかけで出身者同士のつながりも生まれてきています。こうしたつながりをもっと増やして行きたいと思っています。

津山をもっと良くするためにわたしたちができることは、身近にあることです。津山に住んでいるわたしたちがもっと津山を好きになる事が大切だと思います。

語り口調は、とても柔らかくて丁寧でありながらも、内には情熱を秘める三谷さん。これからの活動で、より一層津山を好きになる人が増えたらいいですね。



▲メッセージ付きTシャツを着て高橋選手を応援に行った様子

きらめく津山人

応援するってすばらしい!!



津山ファンクラブ 会長 三谷進さん(林田)

市外で活躍している津山市出身者を応援するため設立された「津山ファンクラブ」。会長の三谷さんにお話を伺いました。

どんな活動をしていますか？

津山市出身者が地元でイベントなどを行う情報が入れば、会員に情報提供し、みんなで応援や鑑賞に行っています。昨年は、プロ野球選手の高橋信二さんの応援に行ったり、チェロ奏者の大島純さんの演奏会を鑑賞したりしました。さらに、今年の3月には津山ファンクラブとして初めて出身者を招いたイベントを開催しました。それは、作陽

高校出身で落語家の立川志の吉さんの独演会で、とてもうれしかったですね。

最初は、出身者を応援することが主な活動でしたが、近頃は、地元で行われるお祭りやイベントなどのお手伝いをすることも活動の一つになっていきます。

活動の魅力は？

この会の合言葉になっている「応援するってすばらしい!!」という言葉のとおり、出身者を応援することで、その人が喜んでくれることが、自分の喜びとなり、津山の活気づくりになることです。誰かを応援すると、その人の人生を分かち合えたような思いが生まれてきますし、応援される人も、応援する人も輝いてきます。また、人に限らず、津山に関連するものを応援することで、どんどん津山を好きになります。

応援するすばらしさや感動を一人でも多くの人と分かち合えた